



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社MFS 上場取引所 東
 コード番号 196A URL <https://www.mortgagefss.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中山田 明
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 平山 亮 (TEL) 03(5989)0575
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	5,764	194.7	64	△63.3	77	△55.5	57	△55.1
2025年6月期第3四半期	1,955	37.7	174	—	174	—	128	—

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 58百万円(△54.4)％ 2025年6月期第3四半期 127百万円(—)％

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	6.10	6.08
2025年6月期第3四半期	14.17	14.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期第3四半期	3,551	2,592	72.6	252.68
2025年6月期	2,537	2,230	87.7	244.85

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 2,577百万円 2025年6月期 2,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,092	177.4	200	2.1	191	△3.6	150	△5.7
								15.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期3Q	10,198,900株	2025年6月期	9,089,200株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	—株	2025年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期3Q	9,468,204株	2025年6月期3Q	9,074,539株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について当社は、2026年5月14日（木）に機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エネルギー価格や物価上昇の影響が続くものの、賃上げの広がりや雇用・所得環境の改善を背景に、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、為替相場の変動や海外情勢の不透明感など、先行きに不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、本格的な金利上昇局面への移行が継続しており、住宅ローン市場におけるユーザーの関心は一段と高まっております。このような状況を踏まえ、当社グループは中長期的な収益基盤の強化を目的とした戦略的転換を推進いたしました。

具体的には、モゲチェック事業において、一部の提携金融機関との収益モデルを従来の「送客課金（顧客の住宅ローン審査申込時に売上認識）」から「実行課金（融資実行時に売上認識）」へと順次移行いたしました。これにより一時的に収益が後ろ倒しとなる影響が生じましたが、同時に広告宣伝費の効率的な運用を徹底し、収益性の安定化を図りました。一方で、INVASE事業においては、自社で直接取引を行う買取再販モデルが軌道に乗り、グループ全体の業績を力強く牽引いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

①モゲチェック事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、金利ある時代の到来に伴う金融機関の広告戦略の変化に対応し、収益モデルの最適化と商品競争力の強化を最優先課題として取り組みました。

収益面では、主要な提携金融機関において実行課金（融資実行時に売上認識）への移行を進めたことで、第1・第2四半期から一転し、課金の実現し始めた当第3四半期において回復傾向が見られました。また、提携金融機関との強固なリレーションシップを背景に、当社限定の「特別金利」を継続的に獲得しております。この圧倒的な商品競争力に加え、先行してリリースした「モゲチェック事前審査（リアルタイム審査）」が奏功し、提携金融機関への融資実行件数は着実に増加いたしました。また、生成AIを活用した「AIアドバイザー」機能の導入や「住宅ローン診断コメント」などのサービスを段階的に拡充し、集客の質と量の両立を図りました。

費用面では、収益認識のタイミング変化に合わせて広告宣伝費を抑制し、一時的にユーザー登録数の減少とはなるものの営業利益の確保を優先する運用を徹底した結果、収益体質への転換が着実に進展しております。

その結果、モゲチェックサービスの集客数が約52万件増加（前年同期比9.7%増）し、ユーザー登録数が約0.8万件減少（前年同期比7.9%減）となりました。

モゲチェックサービスの各種指標の推移

	前々第3四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2024年3月31日)	前第3四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
集客数 (件)	4,323,554	5,456,980	5,985,015
ユーザー登録数 (件)	57,671	103,511	95,301

モゲチェック事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は896,753千円、セグメント利益は14,914千円となっております。

②INVASE事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度から推進してきた「仲介モデルから買取再販モデルへの転換」が大きく結実いたしました。

不動産投資における物件の仕入れから販売までを一貫して手がける体制の強化により、売上規模の拡大に寄与いたしました。特に、需要の高いエリアの人気物件に特化した仕入れ戦略や、提携金融機関との連携による資金調達・ローン付けの円滑化により契約件数が増加し、売上は前年同期比で大幅に増加するなど、好調に推移いたしました。

また、新たに賃貸管理業務の体制を整備するなど、不動産投資の一気通貫したサービスモデルを構築いたしました。これにより、ユーザーを継続的にサポートできる体制を整え、長期的な関係構築を通じて収益基盤の安定化を図っております。

テクノロジー面では、独自の物件評価モデルをシステムに組み込むことで、適正な賃料や価格の算出及び買取査定精度を向上させました。さらに、対話型AIを活用した接客プロセスの自動化開発などを通じて、不動産を金融商品のようにオンラインで完結して取引できるプラットフォームへの進化を推進いたしました。

その結果、物件の契約件数は234件増加し、前年同期比93.6%の増加となりました。

INVASEサービスの各種指標の推移

	前々第3四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2024年3月31日)	前第3四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
バウチャー集客数 (件)	279,150	292,406	24,115
バウチャー申込数 (件)	6,087	4,705	3,148
会員登録数累計 (人)	8,802	7,047	5,713
物件の契約件数 (件)	167	250	484

INVASE事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は4,867,465千円、セグメント利益は49,203千円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,014,069千円増加し、3,551,358千円となりました。これは主に、現金及び預金が92,623千円増加、販売用不動産が838,092千円増加及び役員に対する長期貸付金が90,000千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ652,496千円増加し、959,200千円となりました。これは主に、融資実行により短期借入金が411,200千円増加、1年内返済予定の長期借入金が107,160千円増加及び長期借入金が230,330千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ361,573千円増加し、2,592,157千円となりました。これは主に、新株予約権の行使並びに第三者割当てによる新株式の発行及び減資により資本金が536,180千円減少し、資本剰余金が829,535千円増加したことに加え、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が57,737千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2026年2月13日の「2026年6月期第2四半期(中間期)決算短信(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想値から、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえて修正を行っております。

詳細は、本日(2026年5月14日)別途開示しております「2026年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,821,483	1,914,107
売掛金	264,651	225,720
販売用不動産	81,798	919,891
前払費用	31,107	24,801
その他	45,276	114,780
貸倒引当金	△1,089	△597
流動資産合計	2,243,228	3,198,702
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,131	1,131
減価償却累計額	△610	△687
建物(純額)	520	443
工具、器具及び備品	28,605	32,697
減価償却累計額	△17,208	△20,995
工具、器具及び備品(純額)	11,396	11,702
有形固定資産合計	11,917	12,145
無形固定資産		
ソフトウェア	71,369	53,692
無形固定資産合計	71,369	53,692
投資その他の資産		
投資有価証券	99,103	99,688
役員に対する長期貸付金	50,000	140,000
繰延税金資産	33,500	15,258
敷金及び保証金	24,621	24,921
投資その他の資産合計	207,225	279,868
固定資産合計	290,511	345,706
繰延資産		
株式交付費	3,549	6,949
繰延資産合計	3,549	6,949
資産合計	2,537,288	3,551,358

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	411,200
1年内返済予定の長期借入金	—	107,160
未払金	114,888	70,827
未払費用	59,887	68,803
未払法人税等	61,378	8,581
未払消費税等	55,971	15,207
契約負債	3,514	22,357
預り金	11,063	24,733
流動負債合計	306,703	728,870
固定負債		
長期借入金	—	230,330
固定負債合計	—	230,330
負債合計	306,703	959,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	599,290	63,110
資本剰余金	2,934,769	3,764,304
利益剰余金	△1,308,073	△1,250,335
株主資本合計	2,225,985	2,577,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△521	17
その他の包括利益累計額合計	△521	17
新株予約権	5,120	15,062
純資産合計	2,230,584	2,592,157
負債純資産合計	2,537,288	3,551,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,955,935	5,764,218
売上原価	258,810	4,383,285
売上総利益	1,697,125	1,380,933
販売費及び一般管理費	1,522,240	1,316,815
営業利益	174,884	64,118
営業外収益		
受取利息	890	3,486
ポイント収入	627	242
受取賃貸料	—	19,242
雑収入	1,383	2,924
営業外収益合計	2,901	25,895
営業外費用		
支払利息	1,182	5,562
株式交付費償却	1,614	2,247
不動産賃貸費用	—	3,673
雑損失	1	616
営業外費用合計	2,798	12,099
経常利益	174,987	77,914
税金等調整前四半期純利益	174,987	77,914
法人税、住民税及び事業税	37,488	1,935
法人税等調整額	8,916	18,241
法人税等合計	46,404	20,176
四半期純利益	128,583	57,737
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,583	57,737

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	128,583	57,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△918	538
その他の包括利益合計	△918	538
四半期包括利益	127,665	58,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,665	58,276

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間末において、資本金が536,180千円減少、資本剰余金が829,535千円増加し、資本金が63,110千円、資本剰余金が3,764,304千円となっております。主な要因は以下のとおりであります。

2025年9月26日開催の株主総会の決議に基づき、2025年12月26日付で減資の効力が発生いたしました。これにより、資本金が549,290千円、資本準備金が934,089千円それぞれ減少し、この減少額全額をその他資本剰余金へ振り替えております。

また、2025年11月20日開催の取締役会の決議に基づき、2026年1月8日を払込とする第三者割当による新株の発行により、発行済株式総数が1,019,600株、資本金及び資本準備金の額がそれぞれ133,567千円増加しましたが、同日付で会社法第447条第1項及び第3項並びに第448条第1項及び第3項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額と同額をそれぞれ減少させ、その他資本剰余金に振り替えております。これにより、資本金及び資本準備金に増減はなく、その他資本剰余金が267,135千円増加しました。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額 (注1)
	モゲチェック 事業	INVASE事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,577,664	378,271	1,955,935	1,955,935
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,577,664	378,271	1,955,935	1,955,935
セグメント利益又は セグメント損失(△)	396,452	△221,567	174,884	174,884

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額 (注1)
	モゲチェック 事業	INVASE事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	896,753	4,867,465	5,764,218	5,764,218
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	896,753	4,867,465	5,764,218	5,764,218
セグメント利益	14,914	49,203	64,118	64,118

(注) 1 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更

従来、報告セグメントに帰属しない一般管理費等は全社費用として調整額に含めて計上し、各報告セグメントには配分していませんでしたが、各報告セグメントのより適正な業績評価のため、全社費用を各報告セグメントに合理的な基準に基づき配分する方法に変更しました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づき作成しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	22,015千円	21,540千円